

第4回 足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会

◎第4回足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会が平成20年12月3日に福井県庁にて開催されました。

足羽川ダム工事事務所長挨拶



足羽川ダム工事事務所 川崎将生所長

委員長挨拶



福原輝幸委員長

出席委員



第4回足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会は、水環境、鳥類、爬虫類、両生類、陸産貝類、魚類、陸上昆虫類、底生動物、植物、付着藻類、生態系を担当分野とされる10人の委員で検討されました。

足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会 出席委員名簿

担当分野	氏 名		現 職 等
水 質	奥村 充司	おくむら みつし	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
◎ 地下水の水位	福原 輝幸	ふくはら てるゆき	福井大学大学院工学研究科教授
哺乳類	西垣 正男	にしがき まさお	福井県自然保護課 企画主査
鳥類 (鳥類部会長)	林 武雄	はやし たけお	日本鳥類保護連盟 理事
鳥類	上木 泰男	うえき やすお	日本鳥類保護連盟 専門委員
爬虫類 両生類 陸産貝類	長谷川 巖	はせがわ いわお	福井県両生爬虫類研究会 会長
魚 類	加藤 文男	かとう ふみお	元仁愛女子短期大学教授
陸上昆虫類	下野谷 豊一	しものや とよかず	(財)日本鱗翅学会会員
底生動物	前田 正紀	まえだ まさのり	仁愛女子短期大学准教授 福井陸水研究会
植 物	渡辺 定路	わたなべ さだみち	元福井市自然史博物館館長
付着藻類	安達 誘	あだち さそひ	福井陸水生物研究会 会員
河川物理環境	角 哲也	すみ てつや	京都大学大学院工学研究科准教授

※◎は委員長。

第4回足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会での審議骨子

I. 事務局からの報告

事務局より以下の事項が報告されました。

- ・ 工事計画の概要について
- ・ 大気環境に係る検討
- ・ 地形・地質に係る検討
- ・ 景観に係る検討
- ・ 廃棄物等に係る検討
- ・ 動植物（陸域）に係る検討
- ・ 今後の予定

II. 委員からの主な意見

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

指摘事項	意見内容	事務局回答
大気環境	一度地面に降下した粉じんが工事用車両等の通行により巻き上がり、再度飛散する可能性があるのではないか。	粉じんの巻き上がり等をできるだけ低減するように、散水やタイヤの洗浄等を行う予定である。
	元々静かな地域であるため、基準値での評価だけでなく、日常にはないダンプ等の通行による騒音に対する配慮はできないか。	騒音については、環境保全措置を実施しできる限り低減するものとしている。また、事業者の配慮事項として、騒音調査を行い、必要に応じて、関係機関と調整を図り、騒音の低減に努めることとする。
地形・地質	重要な地質である化石産地については、地層に沿って存在しているのではないか。導水トンネルの掘削により化石層にあたる可能性もあることから、対応方法を考慮しておく必要がある。	文献及び聴取による調査結果によると、重要な地質は事業実施区域から離れており影響はないと考えている。化石が産出した場合の対応方法等については、必要に応じて専門家への聴取を行い、検討する。
動植物（陸域）	ウズラは誤認やカゴ抜けの可能性も考えられる。	確認状況を踏まえて取り扱いを検討する。
	ギフチョウが確認されている区域に、食草となるヒメカンアオイ又はエチゼンカンアオイが分布しているか確認しておいたほうが良い。	ギフチョウ確認地点周辺区域におけるヒメカンアオイ、エチゼンカンアオイの生育分布を確認する。